

科目名	イギリス文化論特講	担当者	タケノ カズオ 竹野 一雄	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	本講義は、20世紀全般を通して健筆を揮ったイギリスの重要な作家グレアム・グリーン の文学世界について探求する。		
到達目標	文学作品を読むことによって、人間の多種多様な経験を理解し、私たちの経験に形を与え、私たち の存在を拡大し、物事に対する意識を高め、思考を活性化させること。		
学修方法	それぞれの教材を虚心坦懐に精読し、批判的、生産的に再読する。この作業がアルファでありオメ ガである。レポート課題に関する質問が生じたとき、質問事項について自分でできるだけ調べること。 その上で疑問点が解決できない場合に、科目担当者に質問するという手順を踏むようにすること。		
スケジュール	課題レポートは前期・後期の定められた期間内に提出すること。ただし、履修者は課題レポート草 稿の添削を受け、科目担当者の了解を得たあとに最終稿を提出することとする。 前期・後期課題レポート提出の順序 課題レポート作成のための準備作業（教材熟読、担当者との質疑応答、資料収集等を含む）。 課題レポート草稿を作成しレポートシステムに投稿。 教員からの添削ファイルないしコメントを受領し、第二草稿を作成しレポートシステムに投稿、この やりとりが何回かつづく。 科目担当者による最終稿の認定を受け、課題レポート提出完了。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	レポート課題の理解、論旨の明快さ、表現の的確さ、内容の豊かさ、 注記などについて総合的に評価。
	平常評価	20%	レポート提出プロセスの順守状況、レポート添削コメントに対する応 答内容を評価。
履修者への要望	ベストを尽くして課題に取り組むことを期待する。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： Graham Greene 教材名： <i>The Power and the Glory</i> (どの版でも可) 教材名： 山形和美 著者名： 『グレアム・グリーン入門』(彩流社, 2010年) ISBN:978-4-77-911597-4 2,800円+税</p> <p><i>The Power and the Glory</i> は1930年代のメキシコ南部での宗教的迫害を素材とした擬似歴史小説であり、同時に体制側の主任警部と反対体制側のウィスキー神父の思想的対立抗争を軸とする政治小説であり、また神に追われる神父の内的葛藤を克明に描く宗教小説である。 『グレアム・グリーン入門』は我が国における最良のグリーン論の縮約版である。</p>
参考図書	<p>青木雄造編『グレアム・グリーン』(20世紀英米文学案内24) (研究社出版, 1990年) ISBN:978-4-32-713424-2 457円+税 山形和美『グレアム・グリーンの世界』(研究社, 1993年) ISBN:978-4-32-747175-0 6,602円+税 Kenneth Allott & Miriam Farris, <i>The Art of Graham Greene</i>. Russell & Russell, 1963 Robert O. Evans(ed.), <i>Graham Greene: Some Critical Considerations</i>. University of Kentucky Press 1963 Samuel Hynes(ed.), <i>Graham Greene: A Collection of Critical Essays</i>. Prentice-Hall. 1973</p>
履修上のポイント	<p>ウィスキー神父と主任警部との幾度かの対面の場面に留意すること。</p>
レポート課題1	<p><i>The Power and the Glory</i> のプロット, 登場人物, 様々な主題, 中心テーマ, 物語技法について論じたのち, 作品の現代的意義について私見を記しなさい。 (40字×40行) ×3~3.5枚=4,800~5,600字 留意点: テキストの熟読を徹底し, テキスト構造に留意して作品を読み解く</p>
レポート課題2	<p>(A), (B) いずれかを選択。 (A) <i>The Power and the Glory</i> の邦訳には『権力と栄光』と『力と栄光』がある。この違いの理由はなんであるのか, 私見を述べなさい。 (B) <i>The Power and the Glory</i> と遠藤周作『沈黙』を対比して自由に論じなさい。 (40字×40行) ×3~3.5枚=4,800~5,600字</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： Graham Greene 教材名： <i>The End of the Affair</i> (どの版でも可) 著者名： ウィリアム・キャッシュ著/山形和美訳 教材名： 『グレアム・グリーンと第三の女』(彩流社, 2010年) ISBN:978-4-77-911533-2 4,500円+税</p> <p><i>The End of the Affair</i> はエロスの関係を断ち切られる事態に至るひとりの女性の苦悩と, その女性を愛した男の魂の苦闘を, 巧みな技法を駆使して描いた力作である。 『グレアム・グリーンと第三の女』は, グリーンが傑作を生んだ要因を彼の恋人との複雑な関係に求めた説得力ある論理展開の伝記である。</p>
参考図書	<p>教材1の参考図書参照のこと</p>
履修上のポイント	<p><i>The End of the Affair</i> は時間的順序に記述されていないので, 出来事の順序を整理しながら読み進めること。</p>
レポート課題1	<p><i>The End of the Affair</i> のプロット, 登場人物, 様々な主題, 中心テーマ, 物語技法について論じたのち, 作品の現代的意義について私見を記しなさい。 (40字×40行) ×3~3.5枚=4,800~5,600字 留意点: テキストの精読を徹底し, テキスト構造に留意して作品を読み解く。</p>
レポート課題2	<p><i>The End of the Affair</i> と『第三の女』の関連について読後感を自由に記しなさい。 (40字×40行) ×3~3.5枚=4,800~5,600字 留意点: グリーンの実体験が作品においてどのように変容されているかに留意する。</p>